

流されるままに

第10期OB 小笠原 裕公

流されるままに社会人も2年目に入ろうとしている訳です。

私、小笠原裕公が三井住友銀行などという名前だけは立派な会社に入ったのは4月。新人研修を終えて板橋区のド田舎のときわ台支店に配属になったのが5月。支店配属になってからは窓口でひたすら住所変更だったり新規口座開設だったり色々なお客様を捌く日々を過ごしてきました。

大学を卒業し、社会人になる前は、小野ゼミで培ってきた力や考え方がどこまで通用するかということを多少なり考えていました。それは言うなれば自信であり、学内でも有数の優秀さとエグさを兼ね備えた小野ゼミを2年間も渡り歩いてきたこの私であれば、社会人生活も順風満帆であろうという根拠のない確信を抱いていた訳です。

結論としましては、9か月とちょっと働いてきて、学生時代に培ってきた力や考え方を仕事に活かしている気が全くしていません。ひたすらに新しい仕事を教えられ、仕事の最適化や物の考え方は三井住友銀行流に塗りつぶされ、忙しさを理由に流されるまま仕事をしているだけで、もう2年目は目前という所まで来てしまいました。こんなにあつという間に考え方や行動方針を塗りつぶされてしまい、根拠のない自信はどこかに飛び去ってしまいました。

そんな中、1月から新しい部署への支店内異動があります。今までは、研修扱いで窓口業務に従事していましたが、1月からいよいよ個人のお客様へ保険を売ったり投資信託を売ったりするお仕事をするようになります。この仕事は、小野ゼミで学んだ現状を分析し、課題を抽出し、戦略を提言するという考え方を実践するのにとても適した仕事だなあと、ここらでいっちょ今まで流されるままで忘れかけていた小野ゼミ流の考え方で仕事を進めていこうかなと考えるようになりました。

社会人のエグさと小野ゼミのエグさは全く方向性の違うものですが、小野ゼミのエグさを乗り切った自分なら仕事もなんとかなるんじゃないかなとそんな気がしてなりません。というか、なってくれ。

そんな風に考えられる土壌を作ってくれた小野ゼミはやはり凄いゼミだなと思います。本当に小野ゼミに入ってよかった、途中でやめないでよかったとひしひし感じております。これからも小野ゼミ流の考え方を忘れないようにして、仕事を頑張っていきたいなと思う次第であります。

それから、同期諸君。保険や積立は若いうちからやっておいた方がいいぞ。保険や積立の相談は三井住友銀行まで宜しくお願い致します☆



夏合宿ですべらない話をする
現役時代の著者